

日本動物行動学会第26回大会 プログラム

2007年10月19日（金）～21日（日）

京都大学医学部芝蘭会館

京都大学理学研究科2号館

大会案内

受付

19日(金)は12時00分から、20日(土)と21日(日)は8時30分から芝蘭(しらん)会館1階にて行います。当日参加の方は、受付にて大会参加費(一般6,500円、学生5,500円)を納入して下さい。懇親会の当日申し込みは一般5,500円、学生4,500円です。

映像紹介

19日(金)の16時00分~17時00分に芝蘭会館稲盛ホールにて行います。発表者は当日の15時までにビデオテープ、パワーポイントデータファイル等を稲盛ホール入口の受付係に提出して下さい。テープは発表後に同所にて返却いたしますので、忘れずにお持ち帰り下さい。発表時間は12分、質疑応答は3分です。

口頭発表

下記の3つの時間帯に分けて、芝蘭会館稲盛ホールにて行います。発表者は以下に記した時刻までに、パワーポイントデータファイル(CDまたはフラッシュメモリー)を稲盛ホール入口の受付係に提出して下さい。発表時間は12分、質疑応答は3分です。なお、発表者は、次の講演の座長を務めて下さい(各時間帯の最後の発表者は、座長をしていただく必要はありません)。

A: 20日10:00~12:00 データファイルは20日午前9時までに提出

B: 20日14:15~15:30 データファイルは20日正午までに提出

C: 21日10:30~12:00 データファイルは21日午前9時までに提出

特別講演

20日(土)の13時00分から芝蘭会館稲盛ホールにて特別講演を開催いたしますので、奮ってご参加下さい。

ポスター発表

芝蘭会館山内ホールにて、発表A(19日13時~20日12時)と発表B(20日13時~21日12時)に分けて行います。ポスター用ボードの大きさは、高さ210cm、幅90cmです。ポスターは各発表の終了時刻までに必ずはがして下さい。

総会

20日(土)の15時30分から芝蘭会館稲盛ホールにて総会を行います。学会運営に関する重要な報告や審議事項がありますので、会員の方はできるだけご参集下さい。

懇親会

20日(土)の18時30分から吉田食堂にて懇親会を行います。芝蘭会館からは徒歩で5分程度かかりますので、お早めに移動を開始して下さい。

ラウンドテーブル

19日(金)17時30分からと21日(日)13:00から、理学研究科2号館1階の第1講義室にてラウンドテーブルが開催されます。芝蘭会館からは徒歩で5~10分かかりますので、お早めに移動を開始して下さい。

休憩場・展示・クローク

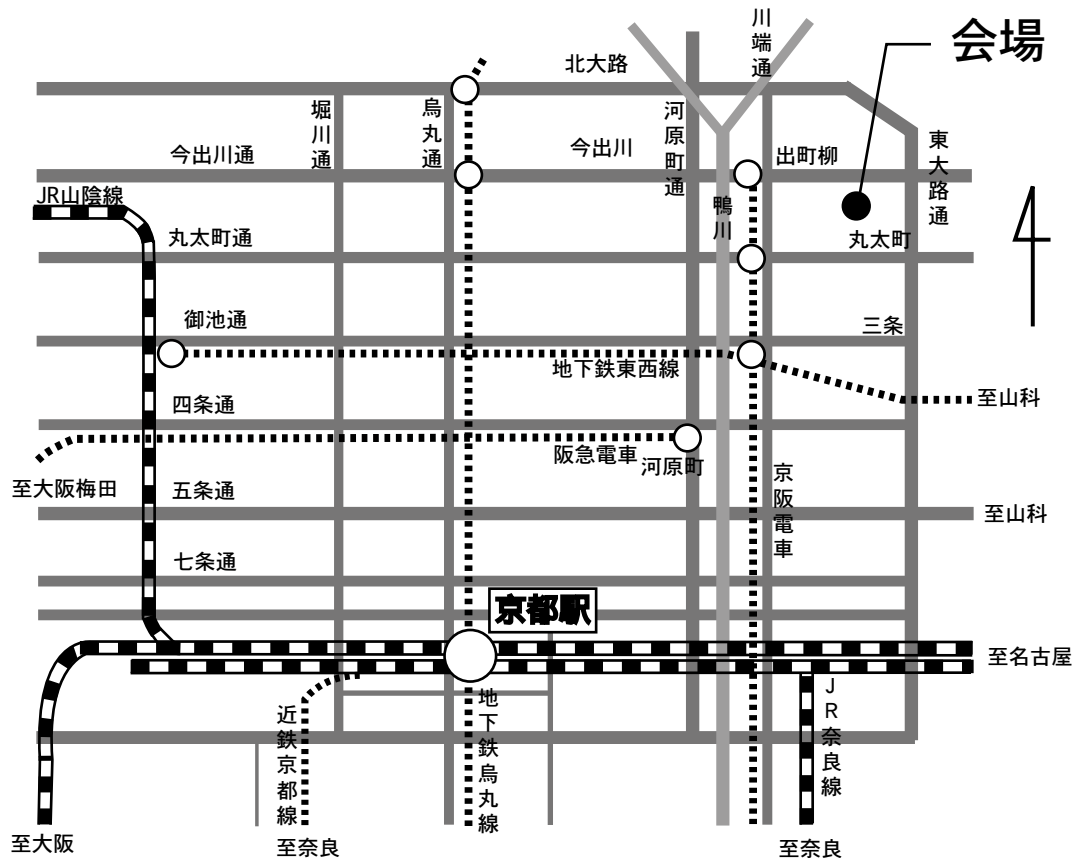
芝蘭会館の1階および2階のホールロビーに休憩場と機器・書籍展示場を設置いたします。休憩場ではお茶などを用意いたします。

クロークは芝蘭会館の1階に準備いたします。利用できる時間帯は、19日12時00分~17時15分、20日8時30分~18時15分、21日8時30分~12時15分です。

昼食

芝蘭会館から徒歩約5分のところに、京大生協経営のカフェテリア・ルネがあり(4ページの地図参照)、土・日曜日とも、昼食をお取りいただくことができます。また、会場周辺には一般の食堂がありご利用いただけますが、日曜日は休業の店が多いためご注意下さい。

会場案内 京都市内略図



芝蘭会館

■ JR 京都駅から (所要時間：30～45分)

- D2 乗り場 市バス 206 系統「東山通 北大路バスターミナル」行
「京大正門前」で下車徒歩 2 分

- 地下鉄「国際会館」行「今出川駅」下車出口 3 番、

- 市バス 201 系統「百万遍・祇園」行乗換え「京大正門前」で下車徒歩 2 分

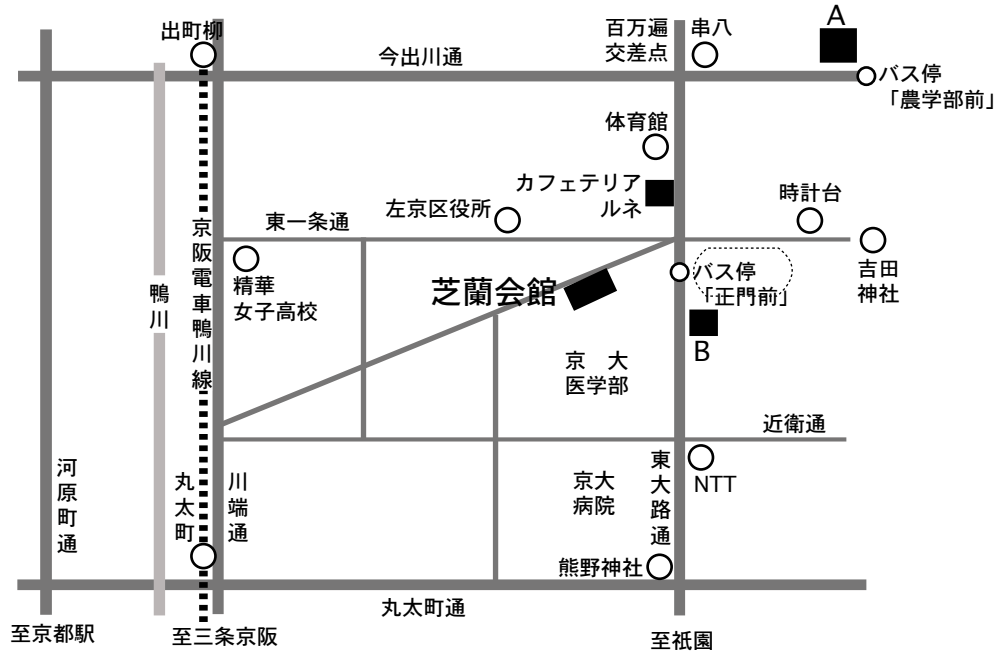
- タクシー (おおよそ 2,000 円)

■ 阪急河原町駅から (所要時間：20～30分)

- 出口 6 番 市バス 201 系統「祇園・百万遍」行・31 系統「熊野・岩倉」行
「京大正門前」で下車徒歩 2 分

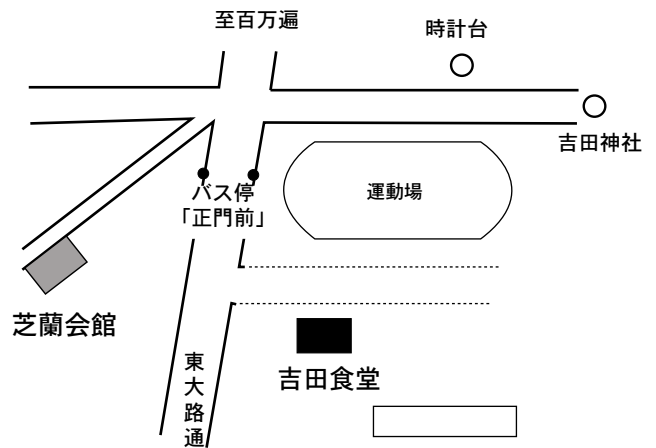
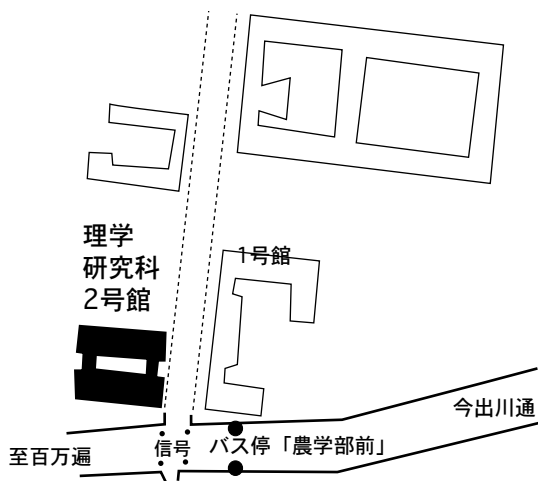
■ 京阪出町柳駅から 徒歩 15 分

会場案内 京大周辺



A 理学研究科2号館
(ラウンドテーブル・委員会)

B 吉田食堂
(懇親会会場)

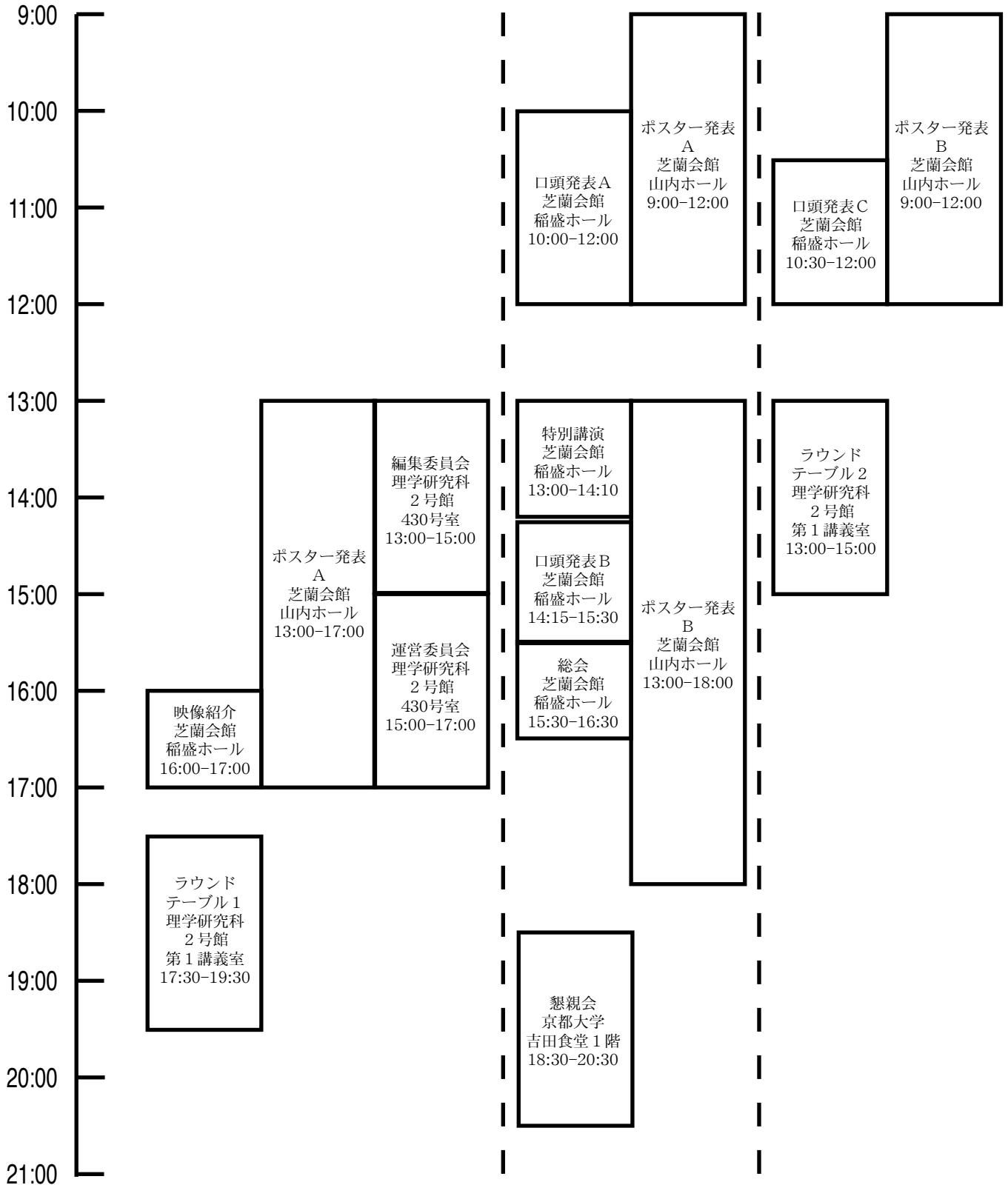


大会日程

10月19日 (金)

10月20日 (土)

10月21日 (日)



映像紹介 (芝蘭会館 稲盛ホール)

10月19日(金) 16:00~17:00

-
- | | | |
|-------|-----|---|
| 16:00 | V-1 | スパイダーマンを超えるクモ?: ハエトリグモの天井面における跳躍
有岡義也(京大・理・動物行動) |
| 16:15 | V-2 | 野生ミナミハンドウイルカの死児運搬
○酒井麻衣(東大海洋研)・植田奈穂子(京大・理・人類進化)・森阪匡通(東工大・生命理工)・
小木万布(御蔵島観光協会)・菱井 徹(御蔵島観光協会) |
| 16:30 | V-3 | マハレ山塊国立公園に生息するチンパンジーの「濡れ毛にシロアリ」行動
清野未恵子(京大・理・人類) |
| 16:45 | V-4 | 一斉開花と野生テナガザルの行動変化: 遊び、グルーミング、歌行動
○井上陽一(西舞鶴高校)・井上悦子(中丹養護学校)・安積昂志(西舞鶴高校)・Waidi Sinun
(Research & Development Division Yayasan Sabah Group)・吉田重人・岡ノ谷一夫(理研
BSI、千葉大自然研) |
-
-

口頭発表 A (芝蘭会館 稲盛ホール)

10月20日(土) 10:00~12:00

-
- | | | |
|-------|------|---|
| 10:00 | OA-1 | ハダカデバネズミの「音声による毛繕い」
○吉田重人(千葉大・自然科学、理研BSI・生物言語)・岡ノ谷一夫(理研BSI・生物言語、千葉
大・自然科学) |
| 10:15 | OA-2 | イルカの口開け行動に関する新しい見解
○植田奈穂子(京大・理・人類進化)・高縄奈々(民宿・鉄砲場)・小木万布(御蔵島観光協会) |
| 10:30 | OA-3 | 逆説的ESSと常識的ESSを結ぶESSの道
蔵 琢也(京大・理・動物) |
| 10:45 | OA-4 | 方言の異同が対人魅力評価に及ぼす影響とその機能
○桜井 玄(九大・理・生物)・橋彌和秀(九大・人環・発達心理学第一) |
| 11:00 | OA-5 | ニホンザル(<i>Macaca fuscata</i>)における風変わりな緊張緩和行動の地域変異
中川尚史・○下岡ゆき子・西川真理(京大・理・動物)・松原 幹(京大・霊長研) |
| 11:15 | OA-6 | ニホンザルにおける運動能力測定その1: 引っ張り力量の測定
○新村 毅・江口祐輔(麻布大・獣医・行動管理)・鈴木克哉・室山泰之(京大・霊長研)・堂山宗一
郎・植竹勝治・田中智夫(麻布大・獣医・行動管理) |
| 11:30 | OA-7 | ニホンザルにおける運動能力測定その2: 垂直跳び能力の測定
○堂山宗一郎・江口祐輔(麻布大・獣医・行動管理)・鈴木克哉・室山泰之(京大・霊長研)・植竹
勝治・田中智夫(麻布大・獣医・行動管理) |
| 11:45 | OA-8 | ニホンザルにおける運動能力測定その3: 幅跳び能力の測定
○江口祐輔・堂山宗一郎(麻布大・獣医)・鈴木克哉(京大・霊長研)・豊田英人・植竹勝治・田中
智夫(麻布大・獣医) |

特別講演 (芝蘭会館 稲盛ホール)

10月20日(土) 13:00~14:10

13:00 演者紹介 日高敏隆(日本動物行動学会初代会長)

13:10 今福道夫(京大・理・動物)
「蝶の色彩と行動」

口頭発表 B & C (芝蘭会館 稲盛ホール)

10月20日(土) 14:15~15:30

-
- 14:15 OB-1 ゾウムシの産卵戦略:最適採餌の視点から
○佐伯晃一・東樹宏和・巖佐 庸(九大・理・生物)
- 14:30 OB-2 異種間交配によるニホンミツバチ女王蜂の雌性単為生殖
○高橋純一(玉大・ミツバチ科学、京大・生態研)・吉田忠晴(玉大・ミツバチ科学)・木村 澄(畜草研)・清水 勇(京大・生態研)
- 14:45 OB-3 ハクセンシオマネキに見られる多様なディスプレイとその機能
村松大輔(京大・理・動物行動)
- 15:00 OB-4 なぜ同時雌雄同体になるのか?
中嶋康裕(日大・経済・教養生物)
- 15:15 OB-5 ベラ科魚類における社会的性決定-性転換と性分化のしくみ
○桑村哲生(中京大・教養)・田中直美・大内英二(沖縄美ら海水族館)

10月21日(日) 10:30~12:00

-
- 10:30 OC-1 ジュウシマツの歌学習に見られる階層的発達のダイナミクス
○笹原和俊・高橋美樹・鈴木研太(理研・BSI)・Olga Feher・Ofer Tchernichovski(CCNY・生物)・岡ノ谷一夫(理研 BSI)
- 10:45 OC-2 ジュウシマツ雛の歌学習戦略:魅力的な歌を覚えるために
○相馬雅代(総研大・理研BSI)・長谷川真理子(総研大)・岡ノ谷一夫(理研BSI)
- 11:00 OC-3 マダガスカルヒルヤモリによる鳥類警戒声の盗用
○伊藤 亮・池内 敢・森 哲(京大・理・動物行動)
- 11:15 OC-4 クマタカ巢への餌運搬で検証する猛禽類の逆転した性的体サイズ二型
金田 大(京大・理・動物)
- 11:30 OC-5 全国における秋季のヒヨドリ渡り状況と北海道噴火湾を渡る行動
○山口恭弘(中央農研・鳥獣害研)・伴野俊夫(噴火湾渡り鳥研究会)
- 11:45 OC-6 昼行性ヤモリは捕食回避のために、いつ、どのように寝場所を離れるのか?
○池内 敢(京大・理・動物)、長谷川雅美(東邦大・理・生物)、森 哲(京大・理・動物)

ポスター発表 A (芝蘭会館 山内ホール)

10月19日(金) 13:00~17:00

10月20日(土) 9:00~12:00

-
- PA-01 アオモンイトトンボの雄による干渉が雌の卵生産や産卵に与える影響
○高橋佑磨・渡辺 守(筑波大院・生命環境)
- PA-02 林内ギャップで卵生産に専念するノシメトンボの採餌場所選択
○岩崎洋樹・渡辺 守(筑波大院・生命環境)
- PA-03 翅のはばたきによって解発されるモンキチョウの雄の求愛行動
○入江萩子・渡辺 守(筑波大院・生命環境)
- PA-04 擬態蝶はどう飛ぶ?
○来田村輔・今福道夫(京大・理・動物行動)
- PA-05 日本産ジャノメチョウ亜科チョウ類の飛翔パターン解析
杉浦宗規(京大・理・動物行動)
- PA-06 餌場から遠くに営巣したベニツチカメムシは高いナビゲーション精度を示す
○弘中満太郎(浜松医大・生物)・馬場成美(九大院・生防研)・野間口真太郎(佐賀大・農)・堀口弘子・針山孝彦(浜松医大・生物)
- PA-07 再交尾抑制物質を巡る雌雄間の対立
○日室千尋・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)
- PA-08 テントウムシヤドリコマユバチは外来のナミテントウには寄生しにくい
○小山哲史(岐阜大・連獣)・Michael Majerus (University of Cambridge)
- PA-09 地中におけるツチバチの宿主探索行動:宿主発見の成否に影響する要因
○井上牧子・遠藤知二(神戸女学院大・人間科学)
- PA-10 ミツバチ繁殖虫における脳内ドーパミンと繁殖行動の関係
○原野健一(玉川大・学術・ミツバチ科学)・佐々木謙・長尾隆司(金沢工大・人間情報システム研)・佐々木正己(玉川大・農)
- PA-11 サムライアリ新女王のコロニー乗っ取りにおける化学戦略
恒岡洋右(茨大・理・自然史)
- PA-12 完全社会寄生種ヤドリウメマツアリの化学擬態戦略
○一言真人・大河原恭祐(金沢大・理・生態)・秋野順治・山岡亮平(京都工繊大・応用生物)
- PA-13 病原菌接種下におけるトビロケアリのセルフグルーミング行動の意義
○奥野正樹・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)・辻 和希(琉球大・農)
- PA-14 温度がアズキゾウムシの交尾と射精数に及ぼす影響
○香月雅子(岡山大・農)・宮竹貴久(岡山大院・環境・進化生態)
- PA-15 温度が擬死行動に及ぼす影響:2種のマメゾウムシ成虫での検証
宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)
- PA-16 アカマダラハナムグリ(コウチュウ目コガネムシ科)幼虫の肉食行動
○宮田 亮・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)・越山洋三(フィールドデータ)
- PA-17 擬死は捕食者に対する有毒物質保有の警告ポーズか!?
○西 優輔・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)・中島修平(岡大院・自然科学・生理活性化学)
- PA-18 アズキゾウムシにおける母親から子への異なる資源投資量に対する子の反応の系統間比較
○柳 真一・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)
- PA-19 配偶干渉がマメゾウムシの種間競争を運命づける
○岸 茂樹・西田隆義(京大・農・昆虫生態)
- PA-20 マメゾウムシのオスによるメスの短期間交尾抑制に対する種内変異及び種間変異の検証
○山根隆史・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)・木村吉伸(岡大院・自然科学)・且原真木(岡大・資生研)
- PA-21 深い位置のアメンボの卵が負うコスト:孵化率の低下
○平山寛之(九大・理・生態)・粕谷英一(九大・理・生態)
- PA-22 タガメ幼虫の形態形質と餌サイズの関係
○大庭伸也(岡大院・環境・昆虫生態)・立田晴記(国環研・生態リスク)・中筋房夫(岡大院・環境・昆虫生態)

- PA-23 雄から渡される魅惑の液体:スズムシの誘惑腺分泌物は雌の利益なのか?
○栗和田隆(九州大・理・生態)・粕谷英一(九州大・理・生態)
- PA-24 ハラビロカマキリの風を利用した適応的行動解析
渡部 宏(近大・農・農生)
- PA-25 ニカメイガのイネとマコモ個体群間における概日リズムと発育期間の比較
○幡司 梢・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)・保積直史(滋賀農技セ)・泉 洋平・積木久明(岡大・資生研)・吉井大志(レーゲンスブルク大)・富岡憲治(岡大院・自然科学)
- PA-26 抱卵中のダンゴムシはやっぱり食べられやすい
○鈴木誠治(長岡技大)・永野昌博(里山科学館キョロコ)
- PA-27 ゴミグモ属の円網の上下非対称性に見られる可塑性
中田兼介(東京経済大)
- PA-28 水域の物理的環境の違いがもたらすザリガニからトンボ類への捕食圧の変化
○保崎有香・宮下 直(東大・院・農)
- PA-29 アメリカザリガニの雄間闘争における餌動機
○砂川俊輔・狩野賢司(東京学芸大・生物)
- PA-30 ヒメイカはどのように精子を貯蔵していくか
○佐藤成祥(北大・環境)・春日井隆(名古屋港水族館)・宗原弘幸(北大・FSC)
- PA-31 イカが鏡に見るものは?:アオリイカにおけるマークテストの試み
池田 譲(琉球大・理・海洋自然)
- PA-32 若齢期の大変化:アオリイカの相対成長と行動
○大島陽太(琉球大院・理工・海洋自然)・池田 譲(琉球大・理・海洋自然)
- PA-33 ヒメヤマトオサガニのallocleaningとその進化の数理モデル
○稲垣絢子(奈良女院・人間文化・情報)・和田恵次(奈良女・理・生物)・高橋 智(奈良女院・人間文化・情報)
- PA-34 コイ科淡水魚モツゴのリスク感受性と神経伝達物質との関係について
○田島直樹、野間口真太郎(佐大・農)
- PA-35 グッピーの産子調節:誰が何にに応じて調節するのか?
○佐藤 綾(東京学芸大・院・教育)・狩野賢司(東京学芸大・教育)
- PA-36 グッピーの雄の尾鰭の長さによる配偶行動の違いと雌の識別
○下市亜里沙・狩野賢司(東京学芸大・生物)
- PA-37 イトヨ日本海型における降海行動
○久米 学(三重大院・生物資源)・森 誠一(岐阜経済大)
- PA-38 Female counter-strategy against male filial-cannibalism facilitated by mate availability in a fish with paternal care
○ Omar Myint(大阪市大・理・生物)・武山智博(京大・理・動物)・幸田正典(大阪市大・理・生物)
- PA-39 目立ちたがりやの諸事情:警告色の多型にまつわる複雑なメカニズム
持田浩治(京大・理・動物行動)
- PA-40 右も左もわからないヘビ
細 将貴(京大・理・動物)
- PA-41 ヒキガエルの毒を再利用するヤマカガシにコストはあるか?
○森 哲(京大・理・動物)・Alan Savitzky・Deborah Hutchinson(Old Dominion University)・Gordon Burghardt(Tennessee University)
- PA-42 アカミミガメとクサガメの潜水行動の比較
○森 貴久・野村邦夫・山本和哉・後藤臣平・藤澤ちはる(帝京科学大)
- PA-43 コガラのフードコールに対する同種・異種の反応
鈴木俊貴(東邦大・理・生物)
- PA-44 雛鳥の行動と脳内モノアミンに及ぼす内分泌攪乱化学物質の影響
○鈴木優美・竹内浩昭(静岡大・院理・生物)・野口裕介・齊能千夏・横越英彦(静岡県大・院生活健康科学・食品栄養科学)
- PA-45 ハチクマの渡り経路はなぜ湾曲するのか?:速度変化解析からのアプローチ
○山口典之・樋口広芳(東大・農・生物多様性)

- PA-46 燃えないあずまや:野火に対する適応かそれとも性選択の副産物か?
○三上 修(九大・理)・勝野陽子(九大・比文)・山下大輔(九大・理)・Richard Noske(Charles Darwin University)・江口和洋(九大・理)
- PA-47 コシジロキンバラの歌の個体群差とその成立要因の検討
○香川紘子(理研・BSI・生物言語、東大院・総文)・山田裕子(理研・BSI・生物言語、千葉大・自然科学)・林端興(Taiwan Endemic Species Research Institute)・長谷川寿一(東大院・総文)・岡ノ谷一夫(理研・BSI・生物言語、千葉大・自然科学)
- PA-48 LCDモニター上の巡回セールスマン課題におけるハトの経路方略
○宮田裕光(京大・文・心理)・藤田和生(京大・文・心理)
- PA-49 血液寄生虫と免疫能はどのように繁殖成功に影響をおよぼすか?
永田尚志(国立環境研・生物圏)
- PA-50 モズの非繁殖期における行動圏とハヤニエの関係
茂木康寛(京大・理・動物行動)
- PA-51 加速度で捉えるイヌの行動
○植田彩容子(東工大・生命理工)・末田達彦(愛媛大・農)・高橋晃周・加藤明子・内藤靖彦(極地研・生物)
- PA-52 イエイヌの最初の出会いにおける行動傾向
森田 亮(帝京科学大・理工・アニマルサイエンス)
- PA-53 クロサイの配偶行動
○喜安 薫・幸島司郎(東工大・生命理工・生体システム)
- PA-54 チンパンジーはどのようなベッドを作るか
座馬耕一郎(日本モンキーセンター)
- PA-55 チンパンジーが長距離音声パントフートに「返事しない」とはどういうことか
花村俊吉(京大・理・人類進化論)
- PA-56 ヒト:旅をするサル
榎本知郎(東海大・医・基礎医学系)
- PA-57 体格指数BMIと性行動との関係
○酒井嘉子(立教大・理)・坂口菊恵(お茶大・人間文化)・長谷川寿一(東大・総合文化)・上田恵介(立教大・理)
- PA-58 現代人の「虫嫌い」感情の適応性について
小林朋道(鳥取環境大・環境情報・環境政策)
- PA-59 インターネットオークションの最適戦略
○大原一華・高橋 智(奈良女・人間文化)
- PA-60 まねされても損しない!?:最適採餌捕食者がもたらすベイツ型擬態の片利的関係
○本間 淳(京大・農・昆虫生態)・高倉耕一(大阪市・環境研)・西田隆義(京大・農・昆虫生態)
- PA-61 利他主義を測る:自己申告尺度と行動指標による検討
○小田 亮・山形祈子(名古屋工大・情報)

ポスター発表 B (芝蘭会館 山内ホール)

10月20日(土) 13:00~18:00

10月21日(日) 9:00~12:00

-
- PB-01 チョウの雄にとって交尾はどの程度負担か?
竹内 剛(広大・生物圏科学・化学生態)
- PB-02 ツマキチョウにおける重複産卵の回避メカニズム
稲森啓太(京大・理・動物行動)
- PB-03 ナミアゲハの吸水行動と精包生産量、精子生産量
○新原 直・渡辺 守(筑波大院・生命環境)
- PB-04 再交尾したアゲハ類の雌体内において生じる精子競争
○佐々木那由太(筑波大・生物)・渡辺 守(筑波大・生命環境)
- PB-05 亜社会性フタボシツチカメムシにおける幼虫孵化後の栄養卵産生
○稲富弘一(佐賀大・農)・弘中満太郎(浜松医大・生物)・口木文孝(佐賀果試)・馬場成実(九大院・生物防研)・柳 孝夫・野間口真太郎(佐賀大・農)
- PB-06 メス親が卵保護するツチカメムシ類における腸内共生細菌の伝播機構
○細川貴弘(産総研・生物機能工学)・弘中満太郎(浜松医大・生物)・稲富弘一(佐賀大・農)・馬場成実(九大院・生防研)・深津武馬(産総研・生物機能工学)
- PB-07 シロヘリツチカメムシの幼虫にはなぜ孵化後栄養卵が不可欠なのか?
○馬場成実(九大院・生防研)・弘中満太郎(浜松医大・生物)・細川貴弘(産総研)・柳 孝夫・稲富弘一・野間口真太郎(佐賀大・農)・日下部宜弘・河口 豊(九大・農)・上野高敏(九大院・生防研)
- PB-08 アジアイトトンボにおける雄の交尾器形態と精子の搔きだし
○田島裕介・渡辺 守(筑波大・院・生命環境)
- PB-09 メスの多回交尾と精子貯蔵:2オスの精子はそれぞれどの器官に貯蔵されるか
○中原美理(東大・農学生命)・五箇公一(国立環境研)・椿 宜高(京大・生態研センター)
- PB-10 多女王制アシナガバチのワーカーによる自巢の幼虫の認識について
工藤起来(新潟大・教育・生物)
- PB-11 南米産アシナガバチ *Polybia scutellaris* の巣の温度特性について
○穂積 訓(茨大院・理工・VBL)・稲垣照美(茨大・工)・工藤起来(新潟大・教)・Sidnei Mateus・Fabio S. Nascimento・Ronald Zucchi (USP)
- PB-12 ヒメハダカアリ *Cardiocondyla minutior* の繁殖行動:有翅雄の巣内残留と結婚飛行
○吉澤樹理(岐阜大院・応用生物・昆虫生態)・山内克典(岐阜大学名誉教授)・土田浩治(岐阜大・応用生物・昆虫生態)
- PB-13 母を訪ねて:♂によるクローン生殖の始まり
○小林和也・長谷川英祐(北大・動物生態)・大河原恭介・田村 恵(金沢大・自然科学研究科)
- PB-14 ヤマトシロアリにおけるコロニー内コンフリクトが性比とカースト比に及ぼす影響
○川津一隆(京大院・農・昆虫生態)・松浦健二(岡大院・環境)・藤崎憲治(京大院・農・昆虫生態)
- PB-15 敵対性の進化 Episode II:クローンの攻撃
○廣田忠雄・斉藤真志・佐藤 翔(山形大・理・生物)
- PB-16 オオツノコクヌストモドキにおける雄の大顎の人為選択とその相関反応
○岡田賢祐・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)
- PB-17 マメゾウムシ類における擬死時間に対する人為分断選択
○趙 莉莉・宮竹貴久(岡大院・環境・進化生態)
- PB-18 ヘイケボタル *Luciola lateralis* におけるオスによる求愛するメスの認識
高津英夫(愛知ホタルの会)
- PB-19 アズキゾウムシにおける擬死選抜系統間における交尾行動の比較
○中山 慧・宮竹貴久(岡山大院・環境・進化生態)
- PB-20 クロカナブン *Rhomborhina polita* の後脚振上げ行動について
小長谷達郎(佼成学園高等学校)・○石井 学(佼成学園中学高等学校)

- PB-21 不妊オス法を用いたアズキゾウムシの精子優先度の推定
○原野智広・宮竹貴久(岡山大院・環境・進化生態)・仲本 寛(沖縄病害虫防七)
- PB-22 社会性アブラムシの兵隊階級はなぜ齢差分業をおこなうのか?
○柴尾晴信・植松圭吾・堀部直人(東大院・総合文化)・沓掛磨也子・深津武馬(産総研)・嶋田正和(東大院・総合文化)
- PB-23 社会性アブラムシにおける新規の防衛様式:親と子による理想的コロニー防衛
○植松圭吾(東大院・広域システム)・沓掛磨也子・深津武馬(産総研・生物機能工学)・柴尾晴信・嶋田正和(東大院・広域システム)
- PB-24 雌雄の性的対立は生殖的隔離を導く:サッポロフキバツタにおける集団間交配
○佐々木有香・菅野良一・秋元信一(北大・農・昆虫体系)
- PB-25 タイワンエンマコオロギ雌のコーリングソング認知ウィンドウの確定
○福井昌夫・内海直弥(京大・農・昆虫生理)
- PB-26 翅のポジションを反転させて鳴くコオロギ
角 恵理(東大院・総合文化・COE「心とことば」)
- PB-27 オナジショウジョウバエにおける条件依存的な雌による雄の選択と性的隔離
○都丸雅敏・山田博万(京都工織大・ショウジョウバエ)・服部恵美・小熊 讓(筑波大・生物)
- PB-28 アオリイカにおける孵化後の捕食行動の発達と群れ形成
○杉本親要(琉球大院・理工・海洋自然)・池田 讓(琉球大・理・海洋自然)
- PB-29 アオリイカにおける孵化後の脳発達に関する研究
○小林しおり(琉球大院・理工・海洋自然)・池田 讓(琉球大院・理工・海洋自然)
- PB-30 トラフコウイカにおける孵化後の昼夜活動性の変化
○阿部由紀子(琉球大院・理工・海洋自然)・池田 讓(琉球大・理・海洋自然)
- PB-31 アラムシロガイ *Nassarius festivus* の体サイズの違いから見る採餌生態
○山本宇彦(九大・理・生態)・逸見泰久(熊大・自然科学研究科・複合新領域科学)
- PB-32 左右対称の正形類ウニは防御面積を最大にしつつ進行する
○吉村和也・本川達雄(東工大・生命理工)
- PB-33 ナガウニの採食行動
○宮本康司(お茶大・SEC)・吉村和也(東工大・生命理工)・本川達雄(東工大・生命理工)・幸島司郎(東工大・生命理工)
- PB-34 サンゴタツはいつ、何にくっつくのが好き?:付随行動と付随基質の嗜好性を探す
樋口三希子・市川陽子・○大塚 悠(東海大・海洋)・鈴木宏易(東海大海洋科学博)・赤川 泉(東海大・海洋)
- PB-35 フタイロカエルウオの家探し:生息地の決定要因はなにか?
青木真知子・竹田知子・高木裕司・鷹尾拓郎・河野裕美・○赤川 泉(東海大・海洋)
- PB-36 アマゴは怖がり!:異なった環境下でのアマゴの行動の相違
○山本陽介・高梨 陽・山本裕典(東海大・海洋)・中道一彦(気田川漁協)・赤川 泉(東海大・海洋)
- PB-37 ニジギンポで繁殖期の一時期におきる雌間競争での体サイズの影響と先住効果
○柴田淳也(京大・生態研センター)・幸田正典(大阪市大・理・動物機能生態)
- PB-38 ロウソクギンポ雄の卵獲得の制限要因:保護卵の発生段階か、卵獲得履歴か?
○松本有記雄(長崎大院・生産研)・田和篤史(長崎大・水産)・竹垣 毅(長崎大院・生産研)・夏苺 豊(長崎大・水産)
- PB-39 「移動」個体と「定住」個体の生存価を調べる:底生淡水魚カジカ(大卵型)を例に
藁田孝晴(富士常大・環防研)
- PB-40 ブラインドケーブフィッシュの回転方向の癖
田坂佳子・○種田耕二(高知大・理・自然環境)
- PB-41 海岸環境での両生類の産卵場所選択
原村隆司(京大・理・動物)
- PB-42 ニホンヤモリの社会行動
○城野哲平(京大・理・動物行動)・乾 陽子(大阪教育大・教養)
- PB-43 キンカチョウヒナの行動の発達と脳の発達の比較
○池淵万季(理研脳センター・金工大人情研)・岡ノ谷一夫(理研脳センター)

- PB-44 野生下のハシブトガラスにおける鳴き交わり
○近藤紀子・伊澤栄一・渡辺 茂(慶應大・心理)
- PB-45 ニワトリ雛のリスク感受性:量と遅延
○川森 愛・松島俊也(北大・院生命)
- PB-46 ハトにおける餌の共有と独占を巡る社会的相互作用の分析:均等配分の効果
○伊藤正人・佐伯大輔・山口哲生(大阪市立大・文・心理)
- PB-47 スズメはどのようなガを捕食するのか?
櫻井麗賀(京大・理・動物行動)
- PB-48 クジャクのオスはなぜ美しい?:大学生と未就学児童を対象としたアンケート調査
高橋麻理子(東大院・総合文化・COE「心とことば」)
- PB-49 系列反応時間を指標としたジュウシマツの系列行動の分析
○山崎由美子(理研BSI・象徴概念)・鈴木研太(理研BSI・生物言語)・稲田正幸(理研BSI・生物言語)・入来篤史(理研BSI・象徴概念)・岡ノ谷一夫(理研BSI・生物言語)
- PB-50 セキセイインコにおける優劣関係が新規物体への探索に与える影響
○一方井祐子・伊澤栄一・渡辺 茂(慶大・文)
- PB-51 うるさい海中でのイルカのコミュニケーション音
○森阪匡通(東工大・生命理工)・酒井麻衣(東大・海洋研)・森 恭一(小笠原ホエールウォッチング協会)・白木原美紀(東邦大)・小木万布(御蔵島観光協会)
- PB-52 飼育下イロワケイルカ*Cephalorhynchus commersonii*の音声行動
○吉田弥生・森阪匡通(東工大・生命・生体)・酒井麻衣(東大・海洋研)・岩崎真里(東工大・生命・生体)・若林郁夫・世古篤史・笠松雅彦(鳥羽水族館)・赤松友成(水工研)・幸島司郎(東工大・生命・生体)
- PB-53 真社会性ハダカデバネズミにおける集団的意思決定と女王の役割
○沓掛展之・稲田正幸・岡ノ谷一夫(理研・脳科学)
- PB-54 嵐山のニホンザル孤児は誰に世話をされているのか?
野寄茉莉(東大・総合文化・広域科学)
- PB-55 フサオマキザルは他個体の情動表出の原因を理解しているか?
○森本 陽・藤田和生(京大・文)
- PB-56 ニホンザルのグルーミング交渉における交渉相手選択:交渉直前の近接が交渉相手選択に与える影響
○神田 恵(京大・霊長類研究所)・杉浦秀樹(京大・霊長類研究所)・室山泰之(兵庫県大・森林動物研)
- PB-57 サルの集落出沒に対する害獣対策犬の導入による影響(速報)
○石川圭介(兵庫森動セ)・横山真弓・坂田宏志
- PB-58 ワオキツネザルメスは誰を追い出し対象にしているか?
相馬貴代(京大・アフリカ研)
- PB-59 行動順序の規則性を表すスコア
○関 義正(理研BSI・生物言語、千葉大・自然科学)・笹原和俊(理研BSI・生物言語)・片平健太郎(理研BSI・生物言語、東大・新領域)・岡ノ谷一夫(理研BSI・生物言語)
- PB-60 近親交配と性的対立
粕谷英一(九大・理・生物・生態)
- PB-61 オスの配偶努力が強化を不完全にする
○高倉耕一(大阪市・環科研)・西田隆義(京大院農・昆虫生態)・巖 圭介(桃山学院大・社会学)
- PB-62 大きなウナギはなまけもの?:異なる環境におけるサイズによる行動の違い
○関口恭史・鹿糠隆宏・朝倉孝志・熊谷 俊・赤川 泉(東海大・海洋)

ラウンドテーブル (理学研究科2号館 第1講義室)

R-1 ばとる・0F・びーとるず：闘いの日々と角の進化

10月19日(金) 17:30~19:30

主催者:宮竹貴久・岡田賢祐(岡山大院・環境・進化生態)

宮竹貴久(岡山大院・環境・進化生態)

戦う甲虫の研究史概略

伊藤 洋(東大・総合文化)

闘争の3Dシミュレーションにおける角型と決まり手の進化的変化

本郷儀人(京大院・理)

カブトムシの雄間闘争と二型の進化

岡田賢祐(岡山大院・環境・進化生態)

闘争と分散とスニークと:大顎で戦うヨツボシケシキスイの体サイズに依存したオスの戦術

R-2 配偶者選択の波紋：選択する側が得る直接的利益をめぐって

10月21日(日) 13:00~15:00

主催者:工藤慎一(鳴門教育大・学校教育)・狩野賢司(東京学芸大・生物)

狩野賢司(東京学芸大・生物)・小汐千春(鳴門教育大・学校教育)

配偶者選択の直接的利益とは?:婚姻贈呈を例に

古賀庸憲(和歌山大・教育)

スナガニ類の配偶者選択:巣穴の装飾および形態による各々の利益

工藤慎一(鳴門教育大・学校教育)

雌から見た雄の子育て:繁殖のコスト・重複ブルードそして配偶者選択

高橋大輔(長野大・環境ツーリズム)

実録クロヨシノボリの雌の配偶者選択

大会事務局

今福道夫(委員長)・森 哲

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学研究科動物学教室内

E-mail: gappa@ethol.zool.kyoto-u.ac.jp

電話(大会前日まで):075-753-4075 または 075-753-4073

(大会開催中):080-5345-0847(森携帯)

ファックス:075-753-4113

(プログラムの記載に誤りがある場合はメールにてご連絡下さい)